

大阪府 枚方市立中央図書館

基本データ

所在地	大阪府枚方市車塚 2丁目1-1
職員数	65人
うち司書数	50人
蔵書数	436,867冊
利用登録者数	177,626人
年間貸出冊数	901,046冊
(児童用図書貸出数 208,113冊)	

テーマ・活動のねらい等

【テーマ】バリアフリーの取組

【活動のねらい】

- 本や図書館に来館することに壁を感じている聴覚障害者、特に生まれつき聴こえない人や幼い時期に聴こえなくなった人(ろう者)に対して、本や図書館に親しみを感じてもらい、こうした人たちの読書意欲を高め、図書館利用を促進することを目的とする。

取組・活動の概要

【対象】

- 聴覚障害者、手話を理解できる人、その他手話に関心のある人等

【頻度】

- 年3回

【取組の概要】

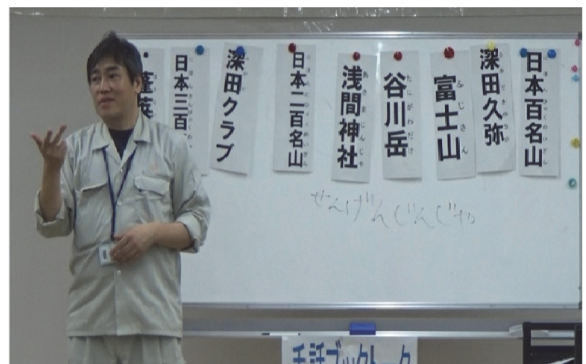
- 聴覚障害のある職員(ろう者)と手話ができる聴こえる職員による手話のみによるブックトーク。
- 約1時間の間に昔話や時事問題の解説、それに関する関連書籍の紹介、新着映像資料(DVD)の紹介などを行う。毎回40~50人が参加。
- 特別な準備物はないが、DVDプレイヤーやプロジェクター、スクリーン等を準備する。



手話ブックトーク

取組・活動の工夫や特徴

- 当館の聴覚障害のある職員3人と手話ができる聴こえる職員2人を中心に運営。あえて読み取り通訳(手話を読み取って言葉で伝える通訳)を付けず、手話だけで行うことでスピード感や表現力等、純粋な手話の世界を味わってもらうことができる。



手話ブックトーク

- 広報は本市の広報誌やウェブサイトで行っているほか、市内で活動している手話サークルや聴力障害者協会などを中心に関連施設や団体へのチラシ配布も行っている。
- 最近は口コミ等による広がりもあり遠方を含めて市外からの参加者も増えてきていて、中には聴覚障害以外の障害者や外国人の参加もみられる。

## 取組・活動の成果や今後の展望

- 当館ではろうの職員がいることで手話ブックトークが実現した。それによる聴覚障害のある利用者数と貸出数の変化は統計上知ることはできないが、ろう者の来館者が目立つようになり、少なくとも一部の聴覚障害のある人の図書館に対する壁を低くすることはできたのではないかと感じている。
- 毎回アンケートを実施し、寄せられた参加者の意見から満足度や成果を把握するとともに、それらの意見を次回以降の企画に生かすようにこころがけている。
- このほかにも、児童を対象とした「手話で楽しむおはなし会」（毎月第4土曜日に実施）も開催しており、子どもたちにも手話を身近なものとして感じてもらえる機会となっている。
- 図書館で開催するイベントを誰もが参加しやすいものにするために、手話通訳をつけたりヒヤリング（磁気誘導）ループを会場に敷設するなどの工夫に努めている。
- こうしたサービスを実現するために、その前提として、職場内での聴覚障害をもつ職員への情報保障にも注意を払い、円滑なコミュニケーションがとれる環境の整備に努めている。

